

IEEE 広島支部 2008 年第 4 回理事会議事録

日時: 2008 年 10 月 18 日(土) 13:00-15:00

場所: 広島インテリジェントホテルオフィスセンター4F 第 5 会議室

出席者: 角田、堀田、六井、大久保、玉木、塚田、西、中西、山口、吉田、舟阪

委任状提出者: 片桐、土屋

議事内容

1. 第 10 回 HISS 関連

角田支部長より配布資料に基づいて説明。

・実行委員の HISS 参加のための旅費を支給したいとの提案があり、承認。広島以外の県に在住の実行委員のみならず、広島大学の対象者へも交通費を支給するとした。発表しない学生に支給し、発表する(HISS への貢献が大きい)学生に支給しない不平等について指摘されたが、発表する学生については IEEE 会員向けの支援制度の利用も考えられる。

・HISS 懇親会を HISS1 日目に開催したいとの提案があった。パネリストと支部理事が参加の予定。欠席の場合は舟阪まで。過去の支部関係者など、特に参加いただきたい方を含め、一週間前までにお知らせいただきたい。

・現在までの進捗と開催概要について資料に基づき説明があった。高校への広報活動について、SSH のコースとしてシンポジウムへの参加を考えていただける可能性はあるのではないかという意見が出された。また功労賞、貢献賞について、実際の働きに応じて差別化を考えてはどうかという意見もあった。資料に補足した点は以下。記念論文賞プレゼンテーションは壇上で順番に実施する。パネル「未来の自動車の姿」の学生パネリストはすでに決定している。研究室展示にはさらに広島市立大の環境メディア研究室とコンピュータアーキテクチャ研究室が手を挙げてくれる。近場の広島大学にもお願いしたい。10/20 までに 500 字の原稿が間に合えば冊子に入るが、それ以降は別紙配布となる。

・別紙として HISS 収支計画書が配布され、説明された。支部からの支援は現状必要な額であり、最終的に帳尻が合うように決める。決算報告を開催後ただちに行ってもらい、支部決算に間に合わせたいという意見があった。

2. 次期役員・理事選挙について

吉田選挙委員長より説明。当初スケジュール通りに進行中。投票用紙の発送についてはメールでも案内したほうがいいのかという意見が出された。また返信には受取人払という手もあるが手間がかかるようで、返信用切手のむだづかいとどちらをとるか考える必要がある。投票数と信任に必要な数について、何%で有効か調べておく必要がある。また投票用紙が一人を信任する形式となっていたため、候補が二人いる Chair については文面を改めて追ってメール審議。

3. 学生支援制度運用状況について

堀田学生委員長より説明。国際会議の発表について 1 件承認をいただいたこと、申請フォームを変更したことが報告された。また報告書に感想などを Web ページで公開してよいかチェックする欄を設けることとした。

4. SC2008 参加報告

角田支部長より説明。2008/Sep/19-22、カナダのケベックで開催された。各 Region からの Recommendation をまとめて上位 10 個が報告され、3 年で実現することとなった。トレーニングプログラムもあって有用だが、2 年目の役員にとってはすでに残期が短い。3 年おき開催なので、次回は 1 年目の役員ができてよいであろう。38 万円ほどの旅費に対し、IEEE 本部からの支給が\$1500 しかないため、残りを支部から支給いただきたい(支給は了承済みで、今回は額の承認)。

5. JC 第 2 回理事会報告

堀田副支部長より説明。Aug/25、仙台にて開催された。英語セッションの話があり、HISS でも検討したい。支部予算執行状況の報告を年 1 回はすることとなったが、今年はしていないようなので、第 3 回理事会で報告する。

6. 国際会議開催報告

山口理事より説明。協賛国際会議 ITC-CSCC2008 が Jul/6-9 に下関で開催された。

7. その他

・次回理事会

HISS 会場にて 11 月 22 日 HISS 終了(16:30)後